

人権ほつと31年4月号

「インクルDB」

大阪教育大学 教授

井坂行男

今回は国立特別支援教育総合研究所の「インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）」をご紹介します。

このインクルDBには文部科学省が平成25年度から27年度に実施した「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」での379の実践事例が掲載されています。

障がいの種類、幼稚園から高等学校および特別支援学校や学級の種類、学年、基礎的環境整備の観点と合理的配慮の観点によって、それぞれの実践事例が検索できます。一つ一つの実践事例は500字程度で記述された概要から始まり、対象児童生徒などへの合理的配慮の実際、そして、取組の成果と課題が詳細にまとめられています。実際のインクルーシブ教育が各学

校や学級でどのように実践されているのか成果や課題は何かがよく理解できると思っています。

関連する法令や施策、用語解説、保護者向けのQ&Aも用意されていますので、不明なことや疑問があっても解消することが容易にできます。

インクルーシブ教育システム構築に携わられた先輩の先生は共生社会の実現に向けた取組を推進していくために、多様性を尊重する態度の育成と「共に学ぶ」教育の実現に向けた動きを作り出すことが重要だと述べられています。

このデータベースはその動きの一つではないでしょうか。また、国立教育政策研究所は「インクルーシブ教育システム構築支援学校施設データベース（インクル学校施設DB）」として、施設設備面における整備事例を公開しています。併せてご覧頂ければインクルーシブ教育の実際についてより深く理解することができるとは思いません。